

睡眠科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、臨床研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ICSD-2 と ICSD-3 におけるナルコレプシー診断基準の検討
担当科等	睡眠医療センター
研究責任者	睡眠医療センター 副技師長 今井正人
研究の意義・目的	睡眠障害国際分類第2版と第3版で、ナルコレプシーの診断基準が変わったため、採用する基準によって診断に至る患者さんの人数がどの程度変化するかを検討を目的としています。
対象となる患者さん	2009年5月から2014年12月までに過度の眠気を呈し、反復睡眠潜時検査（MSLT）を施行した患者さん
研究の方法	MSLTを施行し、診察時に聴取したエポワース眠気尺度（ESS）の点数が11点以上であった症例を用いる。対象を情動脱力発作の有無、MSLTでの平均入眠潜時（8分以上か未満か）、MSLTでのREM睡眠出現回数（0~5回）、前夜の終夜睡眠ポリグラフ（PSG）検査での入眠期REM（SOREMP）の有無で分類する。 睡眠障害国際分類第3版（ICSD-3）の基準を採用すると、第2版（ICSD-2）でのナルコレプシー群より、診断可能となる群が増えるため、その人数や割合を検討する。
研究期間	倫理審査承認日 ~2023年3月31日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 検査データなどの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。しかし、本研究では、2015年6月1日以降は、患者さんの個人が特定できる情報と切り離れた上で研究を行うため、この日以降に患者さんから情報の利用を拒否する申し出があっても、患者さんの情報を探し出すことができませんのでご注意ください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 睡眠医療センター 担当者：臨床検査技師 加藤ちひろ 電話 0561-62-3311（内線 39785）